



外国出張報告書

平成 26 年 4 月 30 日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 25 年 11 月
3. 出張目的 「アフリカ稲作振興」プロにおける現地栽培試験の植物体の収穫：B
4. 成果の概要

不耕起栽培に必要なイネの発芽・出芽・苗立ちの安定化と生育向上に必要な技術的要因の解明のため、ガーナ共和国の Zaw 村現地圃場において播種密度を変えてイネを栽培する試験を行った。不耕起直播栽培（条播）において、播種する条間の広さによって茎葉部乾物重および穂乾物重が異なった。条間間隔の狭い区では、1 条の茎数および穂数が少なく、植物体間で光競合が起こった可能性が考えられた。一方、条間の広い区では条間による茎数および穂数に違いがなかった。登熟歩合には播種間隔による違いがなかったため、面積当たりの穂乾物重は播種間隔が狭い方が高かった。したがって、プロジェクト地域では、光競合が起こらない範囲で播種密度を高めることで面積当たりのイネ収量を向上できると考えられた。